南　港



男鹿市立船川第一小学校
学校報№5　令和８年９月15日
未来をひらく　くじらっこ
～ やさしく かしこく たくましく ～
文責　校長　清水　琢

「スマホは脳を壊す」･･･本当かもしれません･･･

ちょっと怖い見出しになってしまいましたが、本校の「スマートフォン等、インターネット利用実態調査」の結果を見て、私はゾクッとしてしまいました。先月の学校報で概要はお知らせしましたが、本校には次のような特徴がありますので改めてご一読ください。今後、本校の子どもたちのために何ができるのか、どうか保護者の皆様のお力をお貸しください。よろしくお願いいたします。

また10月２日（金）には、インターネット等の使用における注意ポイントについて、３～６年生を対象にｅネットキャラバンによる出前授業（講師等の詳細は、右のＱＲコードをご覧ください）を行います。日程等は後ほどお知らせいたしますので、保護者の皆様もぜひいらしてください。

※１～３年生の県データはないため空欄としています。

【自分専用のスマートフォン等所持率】

	１年	２年	３年	４年	５年	６年
船一小	41%	46%	63%	67%	87%	80%
秋田県				47%	54%	63%

【ルールを決めていない、決めているが守れていない】

	１年	２年	３年	４年	５年	６年
船一小	78%	33%	60%	59%	70%	65%
秋田県				36%	38%	38%

【平日の家庭での利用時間が２時間以上】

	１年	２年	３年	４年	５年	６年
船一小	55%	50%	66%	74%	65%	60%
秋田県				37%	45%	19%

※「利用しない」は本校ゼロ、県データは学習以外の利用時間。

【休日の家庭での利用時間】

	１時間未満	１～２時間	２～３時間	３～４時間	４時間以上
船一小	2%	11%	18%	32%	37%
秋田県					

※全校児童分、県データなし。

他に、利用時間帯の特徴として、83%の子どもが「夕食後から寝るまで」と回答（県66%）、また「困ったことや嫌なことに遭ったことがある」が11%（県６%）という結果が出ています。

つまり本校の子どもたちは、**端末所持率が高く、ルールが守れていなかったり利用時間が長かったり**する傾向が強いこと。そして、**寝る前にインターネット等を利用**する子どもがやや多めで、**困ったことや嫌なことに遭ったことがある**割合も高いことが分かりました。

デジタル化が加速し、大人も似たような状況にある中、この結果のどこが問題なのでしょうか。明らかな正解はまだ見えませんが、これまでの治験（東北大学医学博士：川島教授、榊助教）により、現段階で判明していることをお伝えいたしますので、皆様のご参考になれば幸いです。

以下は、東北大学加齢医学研究所と仙台市教育委員会が共同で、仙台市の小中学生約７万人を対象に行った臨床的追跡調査の結果です。より詳しく知りたい場合は、書籍等でご確認ください。

○スマホを使えば学力は下がり、やめれば上がる。
・スマホ等の使用時間が長くなると学力が下がる。
・スマホをいじりながらダラダラと３時間勉強したとしても、実質30分勉強をした程度の学習効果しか得られない。

→スマホの沼から自分の力で抜け出せる子どもは現状では13%しかいない。いかにして87%の子どもたちに「自らを律し、自分を管理できる強い心」を育むか。

○インターネットを「ほぼ毎日使用する」と回答した子どもたちの脳（神経細胞が集まる灰白質）は、３年間で全く発達していなかった。
・脳の前頭前野が働かず、ものを覚えることができなくなり、誰かと心を通わせることもできなくなっていく。
・幼い頃から続けてしまうと、学力が下がり、脳の発達も止まってしまう。大人になってからもオンライン頼りの生活で前頭前野をサボらせ続けてしまうと、少しずつ脳が蝕まれていき、65歳を迎えたとき認知症になってしまう可能性が高くなる。

→楽に情報を得られるので、脳に全く負荷がかからない状態。脳は使わないとダメになる。
文字入力により漢字を書けなくなる、ナビに頼って道を覚えられないなど、脳は使わない機能をアプリのようにアンインストールしていく。「Use it,or lose it.」

プール開放最終日に　～脇一小の校長先生より～

夏休みのプール開放では、脇本第一小学校のプールをお借りして、脇一小の子どもたちと一緒にプールを使わせていただきました。その最終日に、本校の１年生たちが「プールを使わせてくれてありがとうございました」とお礼を言ってくれたと、脇本第一小学校の太田校長先生が知らせてくれました。最初にお礼を言ったのは１年生の三浦鋼牙さんで、周りの子どもたちもそれに続いたそうです。

感謝の気持ちを伝えられたことも、「くじらっこ」と「わきいちっこ」が仲良くプールを楽しむことができたことも、とても嬉しく思います。使わせてくれた脇一小の皆さんや、プールバスを走らせてくれた関係者の方々に心から感謝しております。

大野北銀河祭りで出展　～ふるさと紹介～



ご縁があり、JAXA宇宙科学研究所がある相模原市（神奈川県）の大野北銀河祭りに、本校の３年生が男鹿市を紹介するパンフレットを出展しました。ご覧になられた方々からは、「男鹿の素晴らしさや魅力がよく分かりました。今度遊びに行きます」などの嬉しい感想をたくさんいただきました。

この後は、相模原市立淵野辺（ふちのべ）小学校とのリモート交流も予定しています。あちらの小学校の３年生には、どんな人たちがいるのかドキドキしますね。とても楽しみです。

宿泊学習　～６年生に向けエンジン始動！～



８月31日から一泊二日で、５年生が宿泊学習を行いました。クマ被害防止のため、今年度は秋田市の「まんたらめ」に宿泊しました。

自分の役割を果たそうと努めたり、仲間が困らないように気遣ったりする姿に、５年生の子どもたちの成長を実感しています。来年はくじらっこのリーダーになる５年生のエンジンが、いよいよ動き出しました。宿泊学習を行って本当に良かったです。意義のある一泊二日にした５年生の皆さんに拍手を送ります。

クマ被害防止に向けて　～ご難儀をお掛けいたします～



９月７日、県庁自然保護課の伊藤未羽さんを講師にお招きし、全校児童を対象にクマ被害防止のための出前講座を行いました。

これまでも保護者の皆様や地域の方々には、送迎や見守りなどで本当に多大なご難儀をお掛けしております。子どもたちの安全に向けたご配慮に心から感謝しています。ただ現時点では、クマの出没が収まる見込みはありません。子どもたちが万一、クマに襲われたらただでは済みませんので、今後も引き続きご理解とご協力のほどを、どうぞよろしくお願いいたします。

くじらっこの活躍　～おめでとうございます！～







☆第37回サッカースポーツ少年団親善西目大会　U-12　優　勝　グロースＦＣ

☆高清水30周年記念大会　努力賞　男鹿杉っ子バレーボールスポーツ少年団

☆第34回男鹿市小・中学生すもう大会

【団体戦】

第３位	船川第一小学校Ａ	先鋒	内山　莉愛	中堅	伊藤　煌晟	大将	石川　誇都
第３位	船川第一小学校Ｂ	先鋒	内山　來叶	中堅	加藤　弘栄	大将	伊藤　悠晟

【個人戦】

優　勝	女子１・２年生の部　伊藤　悠那	男子１・２年生の部　鈴木　琥珀	
準優勝	女子１・２年生の部　鈴木陽花凜	女子３・４年生の部　内山　莉愛	
	男子３・４年生の部　石川　誇都		
第３位	女子１・２年生の部　内山　琉愛	近藤優希乃	
	男子３・４年生の部　伊藤　煌晟		
	男子５・６年生の部　澤木　統真		

夏休み中の親善大会や招待試合へのご参加、本当におつかれさまでした。年々厳しくなる暑さの中、子どもたちの体調管理にも大変ご配慮をいただいたことと思います。まだ残暑が続く日もあるかと思いますので、指導者・保護者の皆様方も、体調にはくれぐれもお気を付けください。

また相撲大会には、本校からもたくさんの子どもたちが参加し、とても見応えのある取組ばかりでした。好成績を収めた子どもたちの嬉しそうな表情はもちろん、負けて悔しがりながらも相手を讃えたり、投げ技で勝ったときに起き上がれない相手に手を差し伸べて気遣ったりなど、武道ならではの礼節とスポーツマンシップに溢れる姿が心に残りました。これからもくじらっこたちの活躍を楽しみにしています。